

## 第 38 回神奈川県肉牛共進会が開催される

7月23、24、27日の3日間、第38回神奈川県肉牛共進会が開催されました。この共進会では、毎年、神奈川県内の肉牛生産者が肥育している肉牛を、全国和牛登録協会が規定する肉牛審査標準に基づいて審査しています。

本年度は、県下11市町から黒毛和種牛14頭、交雑種牛12頭の計26頭の出品がありました。審査は、出品があった生産者を巡回し、出品牛の体高と胸囲及び腹囲を測定して発育の確認をした後、目視および触診により肥育状態を判定しました。今回も、体の幅および深さに富み十分な体積を備え、資質に優れた肥育牛が出品されていましたが、タイプの似通った出品牛が多く僅差での競い合いになったため、序列付けは非常に困難でした。その中で、より均称（前中後軀の釣り合い）がよく、肉付きや脂肪のまわりがよい肥育状態の優れた、かつ質感の高いものを入賞牛（第1部黒毛和種牛6頭、第2部交雑種牛2頭の計8頭）として選出しました。入賞牛は引き続き各生産者で飼養され、関東肉牛枝肉共進会に出品されます。

県内の肥育経営では、肥育素牛の価格や飼料価格の高止まりに対応して、経営コストを削減しながら高品質な牛肉の生産に取り組んでいます。こうした共進会の開催が、少しでも経営意欲の喚起に役立ってくれればと願ってやみません。



【審査のようす】



【名誉賞を受賞した肥育牛】

### 備考

本共進会の主催は神奈川県家畜商業協同組合で、当センターは出品牛の審査業務を中心に協力しています。なお、本共進会は10月に開催される関東肉牛枝肉共進会に出品する肥育牛を選出する予選にあたります。